

1 これまでの「鶴見・あいねっと」の歩み

区計画	年度(平成)	
	12年度	社会福祉法が改正され、市町村での「地域福祉計画の策定」が新たに盛り込まれる
	16年度	「横浜市地域福祉計画」(全市計画) 策定 第1期「鶴見・あいねっと」策定
第1期 (平成17～21年度)	17年度	第1回 推進フォーラムを開催(以後、毎年度1回開催) 18地区での「地区別計画」策定
	21年度	第2期「横浜市地域福祉保健計画」策定 第2期「鶴見・あいねっと」策定
第2期 (平成22～27年度)	22年度	第1回「第2期鶴見・あいねっと推進委員会」開催 (以後、毎年度2回開催)
	25年度	第3期「横浜市地域福祉保健計画」策定
	27年度	第3期「鶴見・あいねっと」策定

推進フォーラム



23年度 和太鼓演奏



24年度 パネルディスカッション



第2期鶴見・あいねっと推進委員会



第3期鶴見・あいねっと策定検討会



2 第3期計画策定の経過

年	月	区全体計画	地区別計画
平成26年	9月	区民アンケート実施 <ul style="list-style-type: none"> 調査対象：鶴見区内に在住する満20歳以上の区民2,000人 抽出方法：外国籍区民を含む無作為抽出 調査方法：郵送配付及び郵送回収 回収結果：992件(回収率49.6%) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地区独自アンケートの実施、地域ケアプラザまつり等の行事の際の意見収集等によるニーズ調査 </div> 
	10月	第1回「第3期鶴見・あいねっと策定検討会」開催 【委員構成】 区内福祉関係団体代表者(全17名) <ul style="list-style-type: none"> 第3期計画策定の進め方 第2期計画の振り返り 	
	11月	活動団体アンケート実施 <ul style="list-style-type: none"> 調査対象：鶴見区内にて活動している120団体 調査方法：郵送配付及び郵送回収 回収結果：約90団体 	
	12月	第2回「第3期鶴見・あいねっと策定検討会」開催 <ul style="list-style-type: none"> 第3期計画の方向性 第3期に取り組んでいきたいこと 	
平成27年	1月	第3回「第3期鶴見・あいねっと策定検討会」開催 <ul style="list-style-type: none"> 地区別計画の策定状況 第3期に取り組んでいきたいこと 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 各地区(全18地区)にて地区懇談会開催 <ul style="list-style-type: none"> 延べ回数：52回 参加者数：約1,200人 </div> 
	2月	区民アンケート実施結果発表	
	5月	第4回「第3期鶴見・あいねっと策定検討会」開催 <ul style="list-style-type: none"> 計画骨子案 計画の全体構成 骨子案発表・意見募集	
	11月	第5回「第3期鶴見・あいねっと策定検討会」開催 <ul style="list-style-type: none"> 地区別計画の策定状況 素案 素案発表・意見募集	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地区別計画集約 </div>
平成28年	1月	第6回「第3期鶴見・あいねっと策定検討会」開催 <ul style="list-style-type: none"> 素案意見募集結果 	
	3月	第12回推進フォーラム開催 第3期「鶴見・あいねっと」発表	

3 第3期鶴見・あいねっと策定検討会 委員からひとこと (敬称略・五十音順)

私が描く5年後の鶴見とは

今以上に、子育てしやすい環境が整い、できる人が、できる時にできる事を、お互い様にやりあって更に、すくすくと子ども達が生まれ育つ街になっている。

阿武 奈美子
(まあすでい代表)

身近な地域の中で、支援する人・支援される人の立場が固定されず、お互いさまの支えあいを意識し、誰もが笑顔で心豊かに過ごせる町にしたいですね！

遠藤 千秋
(潮田地域ケアプラザ所長)

最近、ボランティアのリーダー、中堅のほとんどが団塊世代になった。グループ交流も活発で、切磋琢磨してレベルアップしているようだ。あんしんキーパーなど新制度のボランティアもしている。

大野 鎮夫
(ボランティア・市民活動団体分科会副分科会長)

「私の住んでいる鶴見は、高齢の方、子どもや障がいのある方、外国人の方等“人”に優しく、元気で活気のある町です。地域みんなが出来る事を持ち寄り、住みよい地域を作っています」私も参加中！

岡留 美代子
(矢向地域ケアプラザ所長)

緑と子供の笑い声があふれる街

荻島 克子
(認知症寸劇「つるみ座」代表)

“あいねっと”が生まれて10年、積み重ねてきたものは？
課題に沿って立ち上げた活動は少なくない。
子育て支援から高齢者支援まで。
区民の皆様への広がり？
反省すべき点を見据えて新たな5年にしたい。

河西 英彦
(鶴見区保健活動推進員会会長)

誰もが持っているが心の中に眠っていた「助け合い・支え合い」が開花し地域のつながりが復活。
何処に、どんな人が住んで何を必要としているのか。支え合い・見守りが日常的に定着した明るい鶴見

烏田 次雄
(鶴見区老人クラブ連合会長)

隣近所だけでなく、誰もが笑顔で挨拶を交し励まし合い、助け合い手を繋ぎ合える鶴見... たえ認知症になっても安心して住める鶴見になって欲しい。

川合 桃江
(鶴見区介護者の会 おりづる会世話人代表)

子どもの声が聞こえる町は、隣近所・高齢者が住みやすい町だと思います。「あいねっと」を通して更なる交流の場を作り、安心安全の町・住みやすい地域づくりが出来ればと思います。

小山 和雄
【委員長】（鶴見区自治連合会会長）

障がいがある区民1人ひとりが、安心して生活する事ができることはもちろん、「あいねっと」やさまざまな地域活動に主体的に参加する事ができている素晴らしい地域にしていきたいです！

齊藤 達之
（つるみ地域活動ホーム 幹 施設長）

5年後の2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催。今、日本はオリンピックの成功のため外国人1,500万人の観光都市を目指している。鶴見区の歴史、名所等をPRし、多くの方に区の共生文化を知って頂くチャンスだと思う。

神保 修治
（鶴見区民生委員児童委員協議会会長）

五年後といえば東京オリンピック開催年に当たります。オリンピックの施設建設のため外国人も多く来日することでしょう。「鶴見の町は世界の町」と区役所が発信していますが、本当に鶴見が世界の町となりますよう願ってやみません。

杉浦 節子
（鶴見区民生委員児童委員協議会副会長）

朝早くから皆が起き出し、体操やフィットネスをしてから各自の仕事に向かう。これが健康と地域の安全を守る習慣となっている。

関口 清春
（てらお福まち協議会顧問）

今子育て奮闘中の方も5年後は時間の余裕ができて、親子の遊び場のボランティアや子育てサポートシステムの活動を通して、地域に目を向けた一歩をふみ出して、つながりが広がっていくと良いですね。

富樫 あかね
（鶴見区地域子育て支援拠点「わっくんひろば」施設長）

子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず、いろんな国籍の人も、声かけあえる人がそばにいて、一緒に楽しめる人がいる。困っている人がいたら、そっと手を差し伸べられる、そんな温かい鶴見にしたいですね！

八森 淳
【副委員長】（伊東市民病院 顧問）

お年寄りも、どんな障害を持った人達も健常者も今まで以上に、仲良く、元気に安心して暮らせる街！鶴見になります。そしてシャッター通りという言葉もなくなり活気あふれる鶴見になりますよ！

藤田 美智子
（鶴見区障害児・者団体連合会会長）

5年後の鶴見を想う。その頃には、益々地域の人々の安全・安心を考慮した活気ある街になり、町の各所で体操教室やサロンなど…福祉活動や健康づくりの事業が盛んに実施されているでしょう。

増子 眞智子
（鶴見区保健活動推進員会副会長）